

2010年

第27回 茨城県中学生新人テニス選手権大会

期 日 2010年8月25日（水）～8月28日（土）

予備日 8月30日（月）

会 場 笠松運動公園テニスコート

日 程

日 付	種 目	受 付	開会式	試合開始
8月25日（水）	男子シングルス 男子ダブルス（注）	8時20分～8時30分	8時40分	8時50分
8月26日（木）	女子シングルス 女子ダブルス（注）	8時20分～8時30分	8時40分	8時50分
8月27日（金）	男・女シングルス勝ち残り試合 男・女ダブルス	8時20分～8時30分		8時40分
8月28日（土）	男・女ダブルス勝ち残り試合 男・女学校対抗戦	8時20分～8時30分	8時40分	8時40分
8月30日（月）	大会予備日			

（注）シングルスとダブルスの両方を申し込んでいる選手については、シングルスの日には空きコートができ次第、ダブルスの試合を行うことがあります。

■試合実施の有無などを試合当日の午前6時にインターネット上（<http://blog.auone.jp/ibatyuteren>）に掲載しますので、天候等で不安な場合は、そちらで確認してください。（携帯からでも閲覧可能）
それ以外の手段による問い合わせは、一切受け付けておりません。

■雨天で試合の実施を行えなかった場合は、日程を順延します。

例）初日が順延の場合は、大会2日目より男子シングルスを行います。

■手続きおよび時間を決して間違えないようにしてください。

■急な疾病等でやむなく大会を欠場する場合は、受付時間前までに090-8443-2848まで連絡すること。

主催 茨城県テニス協会

主管 茨城県中学校テニス連盟

競技役員

運営委員長	瀧澤 信行							
ディレクター	鈴木 竜也							
レフェリー	(個人) 小西 善之	(団体) 伊藤 潤						
競技運営委員	穂本 貴通	出野 明彦	宇都木宏一	鯨井 章二	河野 公紀			
	小林 竜也	鮎川 好夫	竹下 仁	出口 洋一	永野 広樹			
	濱口 誠巳	原山 克也	文道 剛	政岡 悟	山瀬 栄太			

諸注意

- 1 出場者および引率教諭は、日程表の指定時刻より早めに会場に集合し、全員揃ってプレーのできる服装で、コートレフェリーに出席を届けること。出席の届けが遅れたり、届がない場合は出場できません。
- 2 引率教諭の付き添いがいない場合は出場できません。引率教諭は、受付から試合終了までチームの選手の監督、指導にあたってください。ただし、部活動のない学校においては、原則として保護者の引率が必要です。
- 3 試合前の練習コートは、当日7時00分より受け付けますので、必要な場合は役員に申し出ること。
- 4 試合の服装や用具については以下のことを守ること。
 - ①試合着は、襟付き（スタンドカラーは不可）のポロシャツ、短パン（ひざが隠れないもの）またはスコートで中学生らしい清楚なものとすること。
 - ②ガットにロゴマークの入ったラケットは使用しないこと。
 - ③コートベンチに、ビンやカン、ペットボトルを持ち込まないこと。必要な場合は水筒を持参すること。
 - ④その他、レフェリーに従うこと。
- 5 試合については以下のことを守ること。
 - ①試合について、1回戦～準々決勝の試合は、6ゲーム先取のノーアドバンテージ制。（40-40とし、次のポイントを獲得した選手がその1ゲームの勝者となる。その際レシーバーはサービスのサイドを選択できる）
 - ②試合について、準決勝～決勝は、1セットマッチ、6-6の場合は、12ポイントのタイブレーク。（2ポイント差の7ポイント先取）
 - ③試合球は、ダンロップフォートのイエローで、各自ニューボール（1缶2球・開缶していないもの）を、シングルスは1人1缶、ダブルスは2人で1缶をそれぞれ持参すること。
 - ④試合前のウォームアップは初回戦のサービス2本のみとする。初回戦以外はサービスのウォームアップも認めない。試合が近づいたら各自工夫をして準備運動をすること。コート外でのボールを使った練習はしないこと。
 - ⑤審判は原則として敗者審判とする。審判は正しいジャッジと大きなコールができるようにすること。
 - ⑥セットブレーク（1ゲーム終了後のコートチェンジの際にベンチに座ったり、飲み物をとったりできない）を採用する。
 - ⑦けいれんその他、体力の消耗による休憩はできない。救急処置が必要な場合は、レフェリーを呼んでもらいその許可を得ること。勝手にコートを離れることはできない。
 - ⑧その他、レフェリーの指示に従うこと。
- 6 コート外からはいかなる指示も選手に出さないこと。
- 7 欠場のないように努めること。特にシード選手は注意を払うこと。
- 8 ごみは各自で持ち帰ること。